

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2014年 1月 1日 第 19 号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ☎ (096) 297-9161

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺 検索](#)

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

迎春

本年もよろしく
お願い申し上げます



熊本市河内町から島原市雲仙普賢岳を望む

丸い生き方

大谷 義文

「今日は死ぬのものもつてこいの日だ」。アメリカ・タオス、プエブロインディアンのお古の言葉。不思議な言の葉に呪縛され、本を手に入れた。そこには彼らの生き方が散文詩で綴られている。原著の表題は「Many Winters」。「冬」は一年の終わり、そして「死」を暗示する。しかし彼らは、「再生」と意味づける。「冬はなぜ必要なの」、「新しい葉を生み出すためさ」。「夏が終わるわけは」、「葉っぱどもが死んでいけるようにさ」。「葉」の呼吸は、多くの生物を生存させる。葉の再生は私の再生でもある。彼らの生命の源、「ブルーレイク」という湖は、プエブロ村の後ろに鋭く隆起している。タオス山の頂にある。そこから流れる水が穀物を養い、飲み水、料理に使われる。

それらすべてが三百年の間、略奪され続けた。それは、自然と共生している文明が、自然を商品化する文明に支配された屈辱的な出来事だった。「白人は大地を眺めるのにつけてひざまずく」とはしない。上から見下ろすのだ。そして、もっと物が必要だろうと贈り物を持ってきて、私たちが白い顔にしようと懸命だった。土地は誰のものでもない。感謝して優しく使ってもらうためにここに置かれている。プエブロインディアンは、丸い生き方を知っている。この詩は、「生きているものすべてが私と呼吸を合わせている」から始まる。私たちは、大地に深い傷を負わせた。その償いは、繰り返さないことだ。丸い生き方に文明の発展はない。しかし、そこに永久なる未来が重なる。

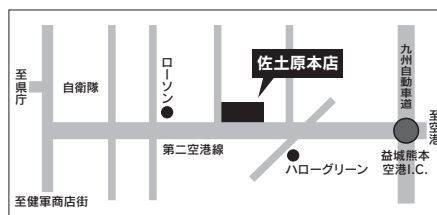


佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

営業時間
昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)
夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)
定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)
7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

日本の歌と西洋の歌



首の筋肉をほぐし背骨を伸ばす



即興

昨年11月3日(文化の日)、「安田先生の寺子屋」が開催された。「声は元気のみなもと」を議題に、日本の歌と西洋の歌を聞き、違いを学んだ。

音楽家で指揮者、香西克章先生。日頃ご指導されている混声合唱団「ララ・コルソ」の10名の方が東京から駆けつけてくださり、安田先生とワークシヨップを行った。

また、親鸞聖人ご和讃「宮商和して自然なり」を検証した。宮と商、となり合う音は不協和音になるが、それが複数組み合わせると美しい和音となる。「和して自然なり」を体験した。50名の参加であった。

寺子屋 声は元気のみなもと



混声合唱団 「ララ・コルソ」



大忙

また発声における身体の使い方では、あごを引き、軽く頭を持ち上げる、首の筋肉がほぐれるという。さらに、文庫本3冊を枕に膝を曲げ仰向けになり、首を引っぱってもらうと背筋が伸びる。皆さんで横になり、身体を整えた。そして、「荒城の月」「紅葉」を大きな声で合唱した。

懇親会は、ピアノリスト安田先生、トランペット香西先生、合唱団員のジャズボーカルによる即興。高校3年、志方仁星君のサクソス演奏。ジャズにロックと幅広い音楽が響いた。今回の寺子屋は、音楽の持つ不思議な力と自由な雰囲気味わった。(博真)

香西先生の指揮のもと、「コンコード(調和)」を披露。安田先生が舞う能「隅田川」をブルックナー・ウィリアムズバード・グレゴリオ聖歌が包み込む。そして合唱団の念仏「南無阿弥陀仏」が斬新。



志方仁星君(高3) サクソス演奏

「炭鉱節」



チェリスト 新井光子師

昨年11月30日、寺子屋忘年会を催した。前半は、安田先生の親鸞聖人物語後半は、新井光子師のチェロ演奏、山本紗由師のバイオリン演奏。皆さんで冬の唱歌、クリスマスソングを合唱した。なんと「第九」も皆で合唱。

寺子屋忘年会報告

ネズ・パース族の格言

アメリカンディーンの家族意識は血縁の有無による分け隔てがない。高齡の来客は「祖父なる」、知人は「兄弟姉妹」。人の輪を幾重にも重ね、すべて共存してきた。「和を以て貴しとなす」である。

「御修行奮闘記」
釋博真(楊原真人)

私はメダカの飼育係だ。一日一回、粉状の餌をふりかけるが、彼らは藻の中から出てこない。しかし次の日、餌は無くなっている。お礼もなければ芸で楽しませることもない。

皆さん、こんにちは。総代の森雄二です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思えます。どうぞお付き合います。

お正月早々、「ララララー」何とお屠蘇を頂きながら、ほろ酔い気分していると、背後から夢心地を突き破るドスの効いた鶴の一声。「アーナンダ、正月から飲んでばかりで」。そうです家の守護神、仙台の鬼嫁。一気に現世に引き戻された凡夫。あー私の初夢はここで無残にも木端微塵、幕を閉じました。

若くして悲運の生涯を閉じたマリア様。一度聴いたらカラスの虜になる鴨(かも)です。今回はオペラの話でしたが、次回からはまた、悲恋ジャズの話。でも、カラス様、仏様、親鸞様、これぞ南無阿弥陀仏の心境かな。

「お腹で感じる声と音楽」
バイオリニスト 山本 紗由 師



バイオリニスト 山本 紗由 師



終活 わりを決めて 暮らす

今を前向きに生きる方のために...



悠々倶楽部

生前予約者のためのサークルです。積極的な生を楽しむことを目的にバスツアーやセミナー等を実施しています。

ぜひ、あなたも仲間になりませんか?

詳しくは、ホームページ又は下記までお電話を。24時間365日いつでも受付中!(土日可)

通話料無料 **0077-78-1059**

ホームページ www.0077-78-1059.com

くまもと県民葬祭

〒862-0923 熊本市東区東京塚町19-47 TEL096-386-1059 FAX096-297-2186

御正忌報恩講

※御正忌報恩講は、親鸞聖人のご法事です。

日時・1月13日(月)

正午 お斎(お食事) 1時 お勤め(読経)

1時30分 法話 3時 演奏 4時終了

法話・中井賢隆師 (大阪・最勝寺住職・大阪別院輪番)

講題・「念仏の息」

演奏・鄭光均師 (兵庫・オカリナ奏者・造形作家)

講題・「オカリナの調べ」―歴史認識について―

春季 差向け布教

納骨堂 追弔法要

永代経 法要

日時・2月24日(月)

午後1時30分 お勤め(読経)

2時 法話 3時30分終了

法話・近藤正嗣師(本山布教使)

東京 照明寺住職

※ 京都、佛光寺本山より差向けられました布教使から御法話がございます。

平日のひと時、ご先祖を偲びお参りしましょう。

納骨堂加入者に限らずどなた様もお参りいただけます。

猫伏石の声

○「おくらのつぐやき」

著者森田典子さん、体調不良のため入院療養中。しばらくお休みします。

○春彼岸会法要

「語りの春」

平成26年3月21日(金)

1時30分～4時30分

法話 大谷義博

浪曲師 玉川奈々福師

曲師 沢村豊子師匠

※5時から懇親会。

講師紹介

玉川奈々福師

平成7年7月7日、玉

川福太郎に入門。

平成16年、「玉川福太

郎の徹底天保水滸伝」、

17年、「玉川福太郎の浪

曲英雄列伝」プロデュー

ス。18年、本橋成一監督

作品『ナミイと唄えば』

出演。

様々な浪曲イベント

をプロデュースする他、

自作の新作浪曲も手掛

け、他ジャンルの芸能・

音楽との交流も多岐に

わたる活動を展開。

沢村豊子師匠

戦後、大御所の合三味

線を務めた超ベテラン。

音色の美しさには定評。

広沢虎造、三波春夫、

村田英雄、二葉百合子と

いった浪曲師達の多種

多様な節を弾きこなそ

うと精励する事によつ

て腕を磨き、芸の幅を広

めた。現在、日本一の曲

師(名人)。

○「安田登先生の

寺子屋」

今年も不定期ですが、

安田登先生に「寺子屋」

開講をお願いしました。

『論語』、『経典』、『漢字』、

「音楽」、何でも楽しく学

べるように企画します。

好評の「親鸞聖人の物語」

も継続します。日程は、

決まり次第ご案内差し上

げます。

○仏事に関する相談

墓地墓石・納骨堂・永

代経等のご相談承ります。

○ホームページ

金剛山阿弥陀寺で検索。

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 他のプランもございます。

30万円より

以下の内容が含まれます。

- 御棺一式
- 納骨一式
- 霊柩搬送
- ドライアイス
- 遺影写真
- 生花祭壇

含まれないもの・・・ 返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間) 益城町宮園547-3 096-286-4640 携帯 080-5214-4640 メール info@kiyamasougi.com

